



14

## こうりんぼうちかどう 香林坊地下道

石川県金沢市香林坊1～2丁目

金沢市は、石川県の中央やや南寄りに位置し、犀川と浅野川に挟まれた台地に中心市街地がある。江戸時代は前田氏の加賀100万石の城下町として栄え、兼六園をはじめとする優れた史跡や伝統文化、芸術を今に伝えている。〔文化・観光〕兼六園、石川門、尾山神社、百万石文化園江戸村、長町武家屋敷跡

愛称は公募により「香林坊パセオ」(パセオ＝スペイン語で散歩道)と決まった。地下道の完成により、新しい商店街と周辺の商店街の一体化がなされ、商店街の活性化が図られている。

地下道は三つの線から成っていて、ロータリー部分には陶壁画(デザインセラミック)、床には市内の主要な名所の方向を絵文字の陶板タイルであらわすなどの装飾がなされており、明るく楽しい、やすらぎとおいしいのある空間をつくり出している。

金沢市の中心市街地、香林坊地区に、市街地再開発事業により新しい商業施設が設けられた。香林坊地区は市内でも最も交通量の多い場所、平面交差である。そこで人と車の共存できる安全で快適な街路空間の確保を目的に、横断地下道を再開発事業で設置した。

